

問1	「晴れ」と「くもり」という天気のちがいは、何をもとにして決められていますか。			
	1. 風の強さ	2. 雨の強さ	3. 気温の高さ	4. 雲の量
問2	台風が近づいたときに、強い風や短い時間の大雨によって起こる災害の正しい組み合わせはどれですか。			
	1. 日ざしが強くなって、地面がひび割れたりする。	2. 看板が吹き飛ばされたり、川の水があふれたりする。	3. 雪がたくさん積もって、電線が切れたりする。	4. 地面が大きくゆれたり、火山がふん火したりする。
問3	空に雲がたくさんかかっている地域では、どのような天気になることが考えられますか。			
	1. 砂あらしや霧	2. くもりや雨	3. 晴れや快晴	4. つむじ風や竜巻
問4	台風の進路予想図で、台風の中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何とといいますか。			
	1. 強風域	2. 暴風域	3. 台風の目	4. 予報円
問5	人工衛星の雲画像とは、どのような場所から、何を撮影したのですか。			
	1. 地上から空を撮影し、星の様子を表したもの	2. 飛行機から地面を撮影し、道路の様子を表したもの	3. 海の中から陸を撮影し、波の様子を表したもの	4. 宇宙から地球を撮影し、雲の様子を表したもの
問6	台風が近づいてきたとき、どのような天気の変化が起こりますか。			
	1. 風がまったく吹かなくなり、おだやかに晴れる。	2. 霧が発生して、まわりが白くて見えなくなる。	3. 強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする。	4. 冷たい雪が降り続いて、気温が急に下がる。
問7	空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合のことを何とといいますか。			
	1. 雲の重さ	2. 雲の形	3. 雲の量	4. 雲の高さ
問8	天気や雲の色、雲の量や形、雲の動く向きや速さなどを記録することを何とといいますか。			
	1. 雨の測定	2. 雲の観察	3. 気温の記録	4. 風の調査
問9	日本のはるか南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多い、強い風や短い時間の大雨をもたらす気象現象は何ですか。			
	1. つゆ	2. 季節風	3. 台風	4. 夕立
問10	空にある雲が動いていくと、雨がふる地域はどのようにになりますか。			
	1. 雲が動いても、雨がふる地域はずっと同じ場所のままである。	2. 雲の動きにともなって、雨がふる地域も変わっていく。	3. 雲が動くと、雨がふる地域は完全になくなる。	4. 雲が動くと、すべての地域で同時に雨がやむ。
問11	台風が近づいたときに、強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活や自然への被害のことを何とといいますか。			
	1. 台風による恵み	2. 台風の進路	3. 台風による災害	4. 台風の目
問12	雲の観察をするときに、記録する項目として正しいものはどれですか。			
	1. 雲の動く向きや速さ	2. 生き物の数や植物の高さ	3. 風の強さと空気の重さ	4. 地面の温度やしめり気
問13	日本各地に置かれていて、雨の様子などを自動で調べる気象観測システムを何とといいますか。			
	1. アメダス	2. ひまわり	3. 百葉箱	4. 気圧計
問14	台風の予報円が表していることについて、正しく説明しているものはどれですか。			
	1. 台風が完全に消えてなくなる範囲を表している。	2. 台風の雨が一番多く降る範囲を表している。	3. 台風の中心が入ると考えられる範囲を表している。	4. 台風の風が一番強くなる範囲を表している。
問15	宇宙にある人工衛星から地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何とといいますか。			
	1. 天気図の記号	2. 人工衛星の雲画像	3. 地上から見た空の写真	4. アメダスの雨量画像
問16	気象観測システムであるアメダスは、主にどのようなことを調べるために使われますか。			
	1. 火山の煙	2. 地震のゆれ	3. 海の深さ	4. 雨の様子